

大洗町幕末と明治の博物館

明治維新150年記念コンサート

～歌により明治から150年の時代を振り返る～

2019 3/23(土) 時間 開場 12:30 開演 13:30
場所 博物館エントランスホール

入場無料

演奏者



稗田隼人 (ひえだ はやと)

ギター

茨城県つくば市出身。クラシックギターを荘村清志・木村義輝・江間常夫、コントラバスを齋藤順、作編曲を陶山隼各氏に師事。2010年第32回ジュニアギターコンクール高校生の部金賞、第35回ギター音楽大賞・大賞部門優秀賞(第3位)受賞。東京音大付属高クラシックギター科卒業後、スペイン・マドリッドへ約2年間留学。国立トゥリーナ音楽院にてコントラバスをラファエル・デ・フリアスに師事。現在はマルチプレイヤー、作編曲家として幅広く活動中。クラシックやベネズエラ・ワルツ、サンバやボサノヴァ等の音楽をルーツにジャズやバロック等の要素を取り入れたスタイルを確立。アルバム奏者 上松美香、声優・歌手 水樹奈々ほか著名人との共演多数。2017年1月Trío Río名義でCD「La Onda Nueva」発売、2018年4月「風の旅」1stアルバム「ワルツ集Vol. 1」発売。



渡辺大輔 (わたなべ だいすけ)

キーボード

茨城県かすみがうら市出身。18歳でキーボードの演奏を始め、独学で習得。2005年南米音楽フォルクローレについて見聞を広めるべくペルーとボリビアを旅し、帰国後、日本最高峰のフォルクローレグループ「MAYA」のサポートメンバーを務めた。2013年プロ奏者へと転向。ほぼ同時にMAYAへ正式加入し、現在も最年少メンバーとして活躍。メイン・サブを問わない飛び抜けた対応力はフォルクローレ界以外でも高く評価され、2018年、メジャーシーンで活躍するシンガーソングライター・ヒグチアイのアルバム『日々凜々』(テイチクエンタテインメント)にキーボードで参加するなど、近年ではジャンルを問わず幅広い分野のアーティストと共演している。ほか、現在はコンサート、レコーディング、ラジオパーソナリティなど多方面に渡り活動中。



菅野 朝子 (かんの あさこ)

ヴァイオリン、フィドル

京都府出身。東京藝術大学卒業。全日本学生音楽コンクール高校の部大阪大会第2位。YBP国際音楽コンクール弦楽部門第3位。15歳の頃よりヨーロッパの講習会を毎年受講し、研鑽を積む。2009年、第一生命ホールにてピアニストのラファエル・ゲラ氏とデュオリサイタル開催。日本舞踊(舞踊・藤間聖英凰 振付・花柳源九郎)と、ショーソンの「詩曲」のコラボレーションが好評を博す。2012年・2015年 銀座ヤマハホールにて、ピアニストのラファエル・ゲラ氏とデュオリサイタル開催。現在、ソロ活動だけでなくレコーディングやライブサポートなど幅広く活動。2013年アイルランド音楽を中心としたCD「Song Thrush」をリリース。アコーディオン奏者水野弘文氏とのデュオ「HighmaK」としても活動中

演奏曲目

主に、明治、大正、昭和前期、昭和後期、平成に流行した時代歌謡曲を演奏します。

協力:東京労音 ギター文化館

お申込み

○お電話またはFAXでご住所とお名前(同行者数)、お電話番号をお知らせ下さい。

※ただし2月中は、大洗町民優先の受付となります。

○椅子席:150席 満席になり次第受付終了となります。ご了承ください。

○連絡先:幕末と明治の博物館 電話:029-267-2276 FAX:029-267-0069